

ワンストップブレーキ ワンストップブレーキ装着車いす用 OSフットブレーキ 取扱説明書



TRZ-044-10

この度は、製品をお買い上げ頂きまして、
まことにありがとうございます。
製品を安全、快適にご使用いただくための
大切な内容が記載されております。
ご使用前に必ずお読みください。



車いすへのワンストップブレーキ及びOSフットブレーキ
取付け作業につきましては、専門知識と技術を持った販売
店にご依頼ください。

装着可能機種

ワンストップブレーキ装着可能機種

シン・ウルトラシリーズ【自走用】 NA-SU1/NA-SU2W※

※NA-SU2Wに装着の場合、駐車時に連動側（レバーが短い側）のレバーが座面より上に出ます

シン・ウルトラシリーズ【介助用】 NAH-SU1/NAH-SU2W

シン・ウルトラシリーズ【自走用】 NA-SU1/NA-SU2W※

ウルトラシリーズ【自走用】 NA-U1/NA-U2W/NA-U2W・BG/NA-U7

ウルトラシリーズ【介助用】 NAH-U1/NAH-U2W/NAH-U7

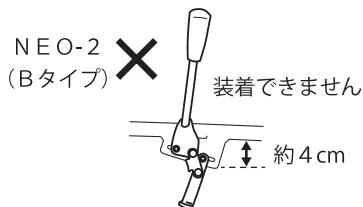
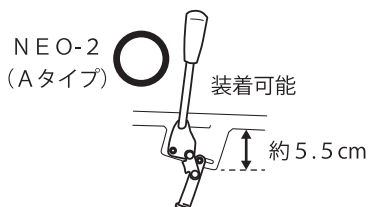
NEOβ(α)シリーズ【自走用】 NEO-1β(α)/NEO-1αレザー/NEO-1β(α)W

NEOβ(α)シリーズ【介助用】 NEO-2β(α)/NEO-2β(α)W

NEOシリーズ【自走用】 NEO-1/NEO-1S/NEO-0/NEO-0S/NEO-0レザー
NEO-1W（NEO-1W用は他の機種用と付属部品が異なります）

NEOシリーズ【介助用】 NEO-2W

NEO-2（ブレーキステアの形状が下図Aタイプのもの）



OSフットブレーキ装着可能機種

※ワンストップブレーキを装着した下記車いすに装着が可能です

ウルトラシリーズ【自走用】 NA-U1/NA-U2W/NA-U2W・BG

NEOβ(α)シリーズ【自走用】 NEO-1β(α)/NEO-1αレザー/NEO-1β(α)W

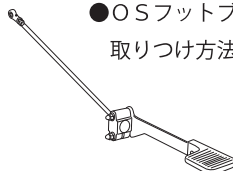
NEOシリーズ【自走用】 NEO-1/NEO-1S/NEO-1W/NEO-0/NEO-0S/
NEO-0レザー

目次

- ワンストップブレーキの使用方法・
取り付け方法 … P 2～P13



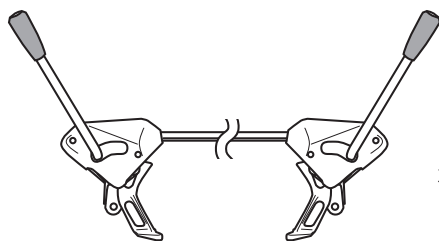
- OSフットブレーキの使用方法・
取り付け方法 … P14～P18



ワンストップブレーキのパーツ一覧

パーツ一覧

ワンストップブレーキを取付け用部品として購入いただいた場合は、下記のパーツがセットになっています。



ワンストップブレーキ
本体



ブレーキレバー延長棒（アルミ）+ 10cm 用 … 1本



ボルトM5×20 … 4本



ボルトM5×15 … 2本



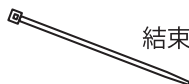
スプリングワッシャ … 6枚
(ボルトにセットされています)



平ワッシャ … 4枚



小判形プレート … 2枚



結束バンド … 1本

NEO-1W に取付け用の
ワンストップブレーキにのみ
付属



車軸スペーサー
… 2個



車軸固定ナット
(約6mm厚)
… 2個



ワンストップブレーキ装着済みの車いすを購入の場合、上記の全てのパーツが使用されているわけではありませんのでご了承ください。
(機種により使用パーツが異なります。)

ワンストップブレーキの使用方法・使用前点検・メンテナンス

駐車ブレーキのかけかた



操作側(レバーの長い方)のノブを手で後方に引くと、左右両後輪の駐車ブレーキがかかります。
レバーを前方に戻した状態が解除です。



注意
警告

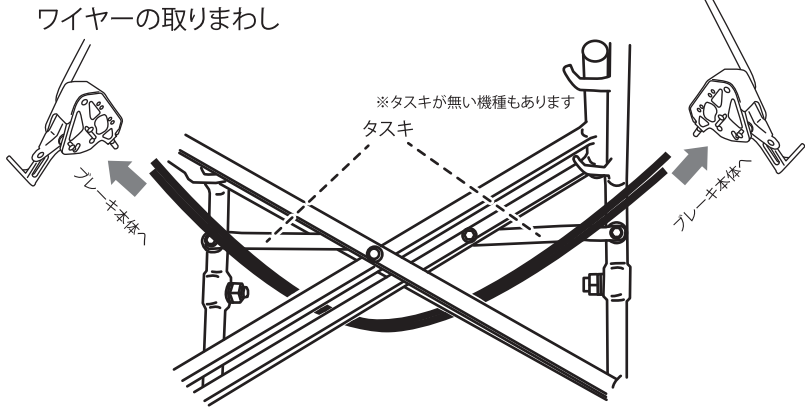
- ・しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに、横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。
- ・坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- ・ブレーキレバーに体重をあずけたり、足でレバー操作するなど、レバーに強い力がかかる行為はしないでください。
- ・ブレーキレバーを動かす場合は、反対側のブレーキシューの近くにも操作者や他人の手指がないことを確認してください。ブレーキシューとタイヤの間で手指をはさむことによるケガのおそれがあります。

※説明イラストは右操作設定状態用です。
左操作設定時は左右対称の形状となります。

使用前点検及びメンテナンス

- ・ご使用の前に駐車ブレーキがしっかり効くことを確認してください。
- ・ブレーキの効きの強さは、ブレーキ本体の前後位置で調節します。(P 9 参照)
定期的にブレーキがしっかり効くか、点検してください。
- ・ワイヤーの適正な遊び量はワイヤーを手で引っばったときに、ワイヤーが1 mm 動く程度です。(P 10～P 11参照)。定期的にワイヤーの遊び量が適正かどうかを確認してください。
- ・製品に異常がある場合は使用を中止し、販売店に部品交換や修理、調節を依頼してください。

ワンストップブレーキの取付け

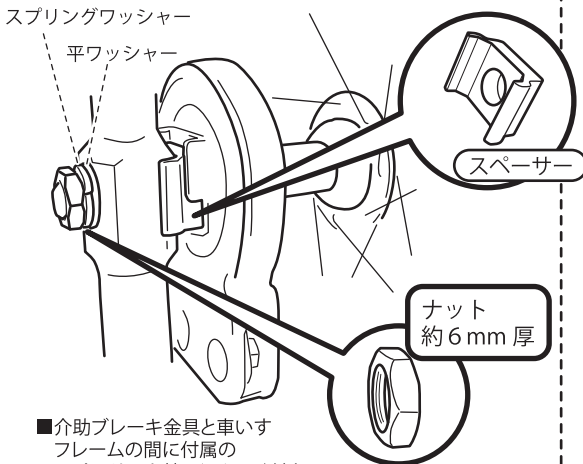


ワンストップブレーキのワイヤーは、タスキの下と折りたたみフレームの間を通して車いすの後ろに出し、反対側のタスキの下と折りたたみフレームの間を通して、反対側のブレーキステーの位置に出します。

※タスキが無い機種の場合も、上図のようにX形状の左右のスペースの間を通して、上図の要領でワイヤーを取りまわしてください。

※機種によっては、後輪をフレームからはずさないで、ワイヤーの取りまわしができません。後輪をはずして、フレームにブレーキ本体とワイヤーを通した後、後輪をしっかりと再装着してください。

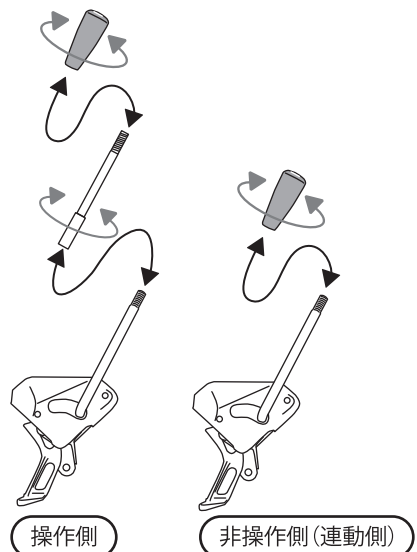
NEO-1W に取付けの場合



- 介助ブレーキ金具と車いすフレームの間に付属のスペーサーを挟み込んでください。
- 車軸固定ナットは、付属の約6mm厚のものに交換してください。交換前から車いすについていた車軸固定ナットは再利用しないでください。

レバー延長棒・ノブの取り付け

ワンストップブレーキの操作側のレバーには、付属のレバー延長棒とノブを取付けます。非操作側(連動側)のレバーにはノブのみを取付けます。



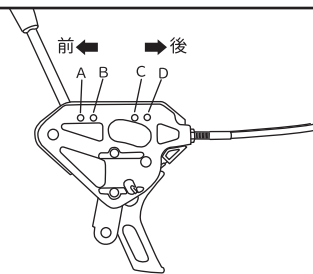
ワンストップブレーキの取付け



ワンストップブレーキ取付け用のボルト・ワッシャー類はワンストップブレーキに付属のものを使用してください。取付け前から車いすについていたボルト・ワッシャー類を使用して取り付けをすると、ワンストップブレーキが故障するおそれがあります。

NEO-1 β (α)Wへの取付け(仮固定)

NEOシリーズへの取付け(仮固定)



A~D(※)の穴を使用して
M5平ワッシャー・M5スプリングワッシャー・
ボルトM5×2.0でブレーキステーに固定します。

(※)使用穴

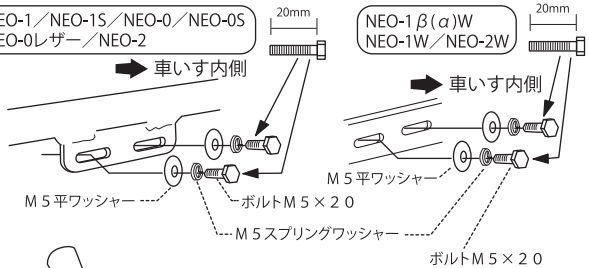
BとDで固定

NEO-1 β (α)W/NEO-1/NEO-1W
NEO-0/NEO-0レーザー/NEO-2/NEO-2W

AとCで固定

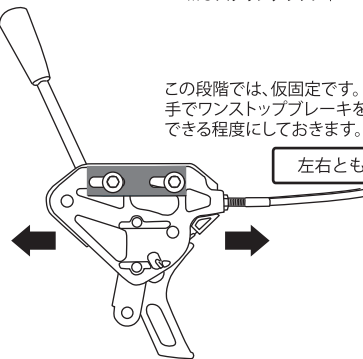
NEO-1S/NEO-0S

NEO-1/NEO-1S/NEO-0/NEO-0S
NEO-0レーザー/NEO-2



この段階では、仮固定です。
手でワンストップブレーキを前後にずらすことが
できる程度にしておきます。

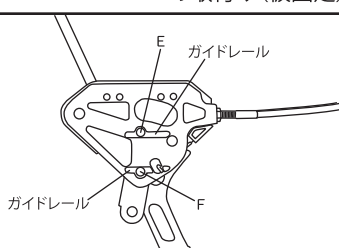
左右とも、作業してください。



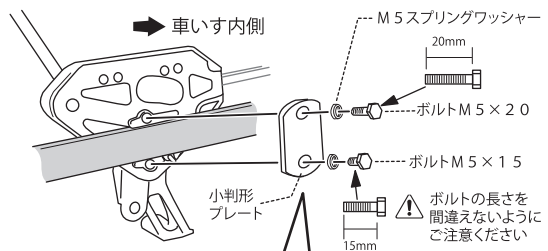
シン・ウルトラシリーズへの取付け(仮固定)

ウルトラシリーズへの取付け(仮固定)

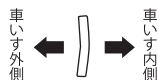
NEO-1 β (α)/NEO-1 α レーザー
NEO-2 β (α)/NEO-2 β (α)W
への取付け(仮固定)



ガイドレールの間に
ブレーキステーをしっかりとさみ、
EとFの穴を使用して
M5平ワッシャー・ボルトM5×2.0・
ボルトM5×1.5でブレーキステーに
固定します。

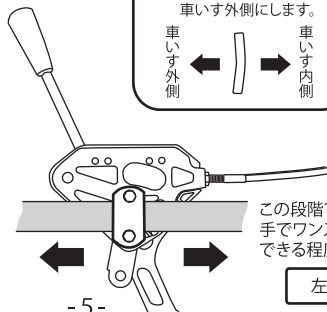


小判形プレートは
ふくらんでいる方を
車いす外側にします。



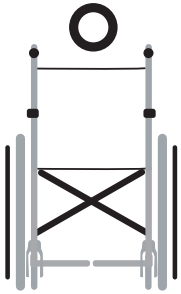
この段階では、仮固定です。
手でワンストップブレーキを前後にずらすことが
できる程度にしておきます。

左右とも、作業してください。



ワンストップブレーキの取付け

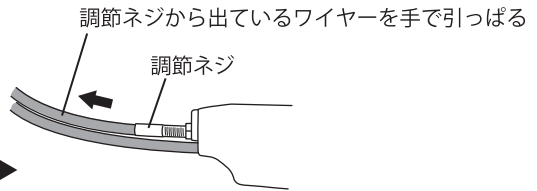
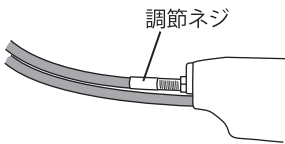
ワンストップブレーキのワイヤーの遊びの確認



車いすをひろげてください。
※車いすが折りたたまれた状態では、
ワイヤーの調節が正常にできません。

ワイヤーの遊び量の確認

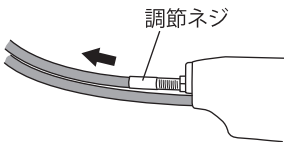
上から見た図



調節ネジから出ているワイヤーを手で引っばって
ワイヤーの遊び量を確認します。

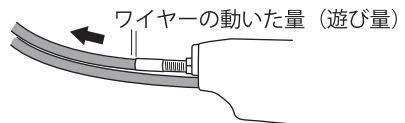


引っばっても、ワイヤーが調節ネジから
引き出されない場合



反対側のワンストップブレーキについても
同様の確認作業を行い、そちらも引き出され
なければ P 8 へ

引っばることで、ワイヤーが動き
調節ネジからワイヤーが引き出される場合



ワイヤーの遊びがなくなるように調節します。
P 7 へ

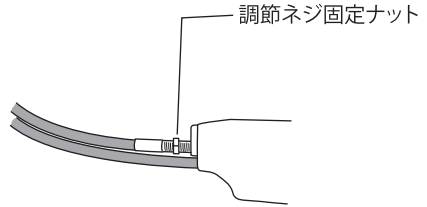
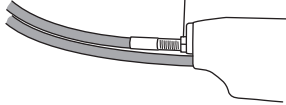
ワンストップブレーキの取付け

ワイヤーの遊びがなくなるように調節します

ワイヤーの調節

上から見た図

調節ネジ固定ナットを
ゆるめる
(8mmのスパナを使用)

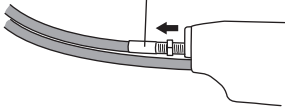


調節ネジを固定している
ナット(調節ネジ固定ナット)を
ゆるめます

調節ネジ固定ナットを手でまわし、
上図くらいの位置まで移動させます。

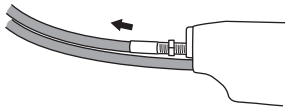


調節ネジの、この部分を
手で回して調整します



調節ネジを手でまわして、調節ネジを少し
引き出します。

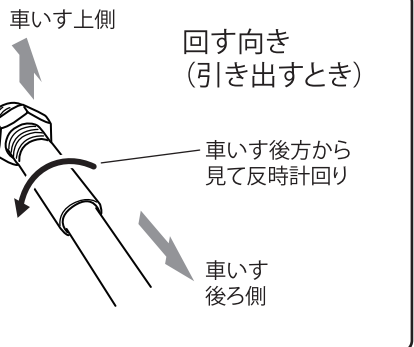
※調節ネジが引き出されると、
ワイヤーの遊び量が小さくなっていきます。



調節ネジから出ているワイヤーを引っぱっても
ワイヤーが調節ネジから引き出されなくなったところで
調整をやめてください。



反対側のワンストップブレーキの
確認がすんでいなければ、P 6に戻り、
反対側の確認へ



調節ネジ固定ナットをゆるめるのに
使用する 8mm のスパナは、
先端形状が「やり形」で、厚みが
薄いものの方が作業がしやすくなり
ます。

やり形

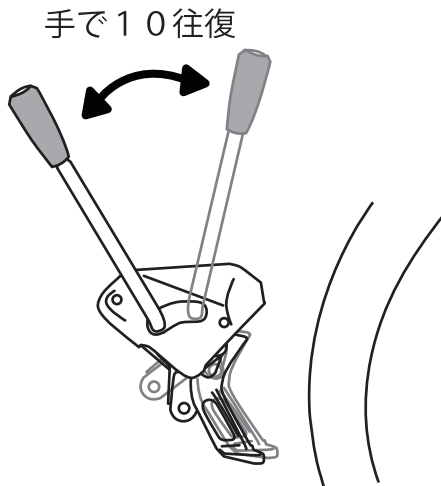
丸形



左右のワンストップブレーキとも
ワイヤーが調節ネジから引き出されなく
なっていれば、P 8へ

ワンストップブレーキの取付け

ワンストップブレーキのワイヤーを本体になじませる作業



左右どちらか一方のワンストップブレーキのレバーを手で操作し、押し、引きの動作を10回程度行います。

※どちらか一方のワンストップブレーキのみ実施してください。
左右両方で行う必要はありません。

※この状態では、レバーは手で引かないと戻りませんので、
手で引いて戻し動作を行ってください。

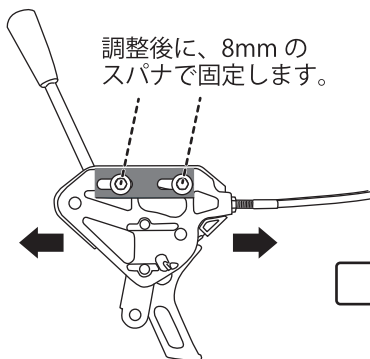
この作業を行うことにより、ワイヤーがワンストップブレーキ本体になじみ、ワイヤーがはずれにくくなります。

ワンストップブレーキの取付け

ワンストップブレーキの位置を調節して固定します

NEO-1 $\beta(\alpha)W$

NEOシリーズ



調整後に、8mm の
スパナで固定します。

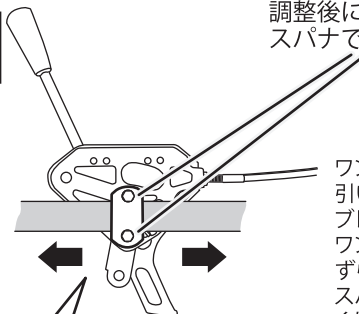
ワンストップブレーキのレバーを
引いたときに、駆動輪にしっかり
ブレーキがかかる位置に
ワンストップブレーキを前後に
ずらして調整し、ボルトを8mmの
スパナでしっかり締めて固定して
ください。

左右とも、作業してください。

シン・ウルトラシリーズ

ウルトラシリーズ

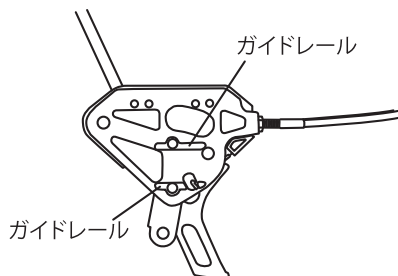
NEO-1 $\beta(\alpha)$ / NEO-1 α レザー
NEO-2 $\beta(\alpha)$ / NEO-2 $\beta(\alpha)W$



調整後に、8mm の
スパナで固定します。

ワンストップブレーキのレバーを
引いたときに、駆動輪にしっかり
ブレーキがかかる位置に
ワンストップブレーキを前後に
ずらして調整し、ボルトを8mmの
スパナでしっかり締めて固定して
ください。

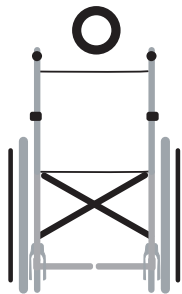
左右とも、作業してください。



ブレーキ取付けステーが、ガイドレールの間に
きちんとはまっていることを確認してから
固定してください

ワンストップブレーキの取付け・メンテナンス

ワンストップブレーキのワイヤーの遊びの調節

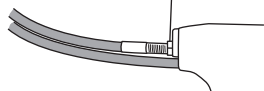


車いすをひろげてください。
※車いすが折りたたまれた状態では、
ワイヤーの調節が正常にできません。

ワイヤーの調節

上から見た図

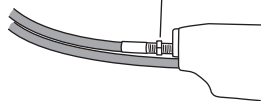
調節ネジ固定ナットを
ゆるめる
(8mmのスパナを使用)



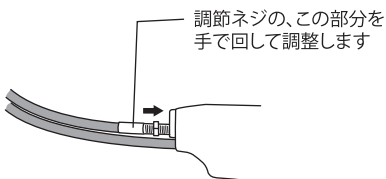
調節ネジを固定している
ナット(調節ネジ固定ナット)が
締められている場合はゆるめます



調節ネジ固定ナット



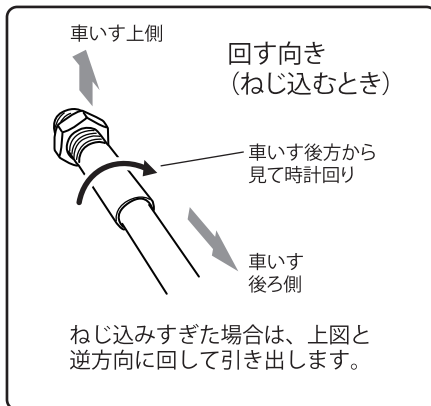
調節ネジ固定ナットを手でまわし、
上図くらいの位置まで移動させます。



調節ネジの、この部分を
手で回して調整します

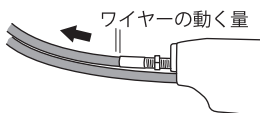
調節ネジを手でまわして、調節ネジを少し
ねじ込みます。

※調節ネジがねじ込まれると、
ワイヤーの遊び量が大きくなっていきます。



ねじ込みすぎた場合は、上図と
逆方向に回して引き出します。

調節ネジから出ているワイヤーを手で引いたときに、1mm 程度ワイヤーが動く状態になるように、
調節ネジのねじ込み量を調整します。

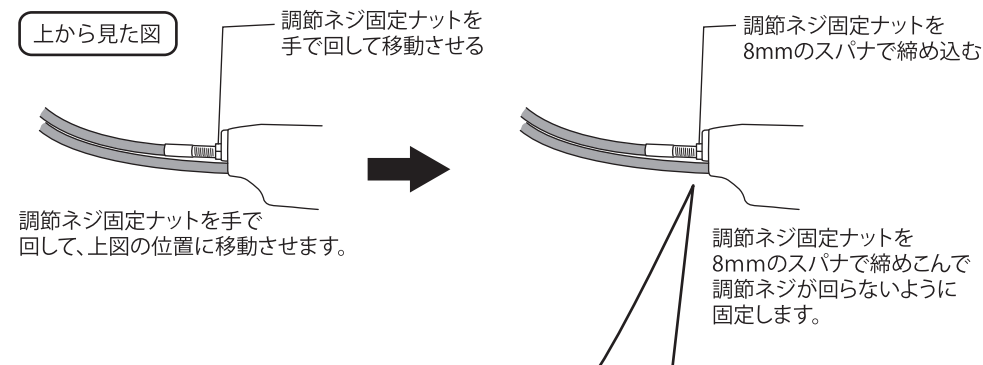


ワイヤーの動く量(遊び量)が1mm程度になるように

左右のワンストップブレーキの両方とも、
調整してください。

ワンストップブレーキの取付け・メンテナンス

調節ネジを固定します。



調節ネジ固定ナットをゆるめる、もしくは締め込むのに使用する8mmのスパナは、先端形状が「やり形」で、厚みが薄いものの方が作業がしやすくなります。



左右のワンストップブレーキの両方とも、調節ネジを固定してください。

ワンストップブレーキの取付け

ワイヤーの結束（一部機種のみ）

対象機種 介助用 NAH-SU1 / 介助用 NAH-SU2W
 介助用 NAH-U1 / 介助用 NAH-U2W / 介助用 NAH-U7
 介助用 NEO-2 $\beta(\alpha)$ / 介助用 NEO-2 $\beta(\alpha)$ W

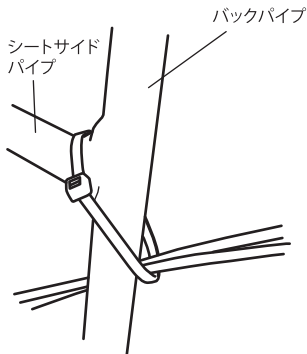
NAH-SU1・NAH-SU2W・NAH-U1・NAH-U2W・NAH-U7では、ワンストップブレーキの2本のワイヤーを、下図のようにバックパイプとシートサイドパイプの交点でぶらさげるように留めてください。

結束バンド（全長約300mm）を使用します。

留めるのは車いすの左右どちらか1箇所です。右側でも左側でもかまいません。

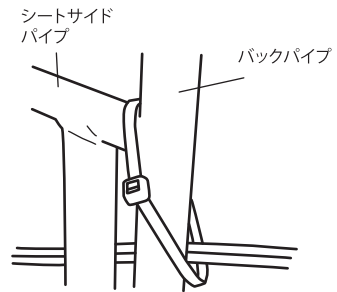
結束バンドのあまった部分をカットする場合は、切断面が鋭利にならないように処理してください。（ケガ防止のため）

NAH-SU1 / NAH-SU2W
 NAH-U1 / NAH-U2W

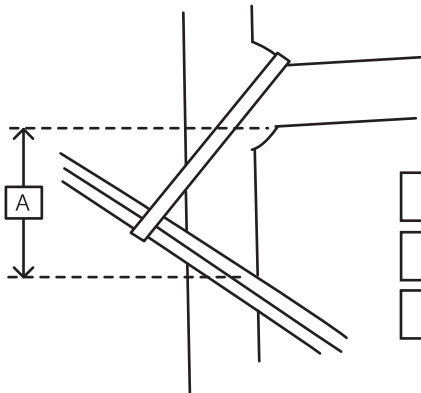


留めるのは車いすの左右どちらか1箇所です。右側でも左側でもかまいません。

NAH-U7



留めるのは車いすの左右どちらか1箇所です。右側でも左側でもかまいません。



結束バンドでの留め具合の目安

留めた側のシートサイドパイプ下端面から、ワイヤーとバックパイプの交点までの垂直距離（左図Aの寸法）

NAH-SU1 / NAH-U2W 7～9cm 程度

NAH-U1 / NAH-U2W 4～6cm 程度

NAH-U7 6～8cm 程度

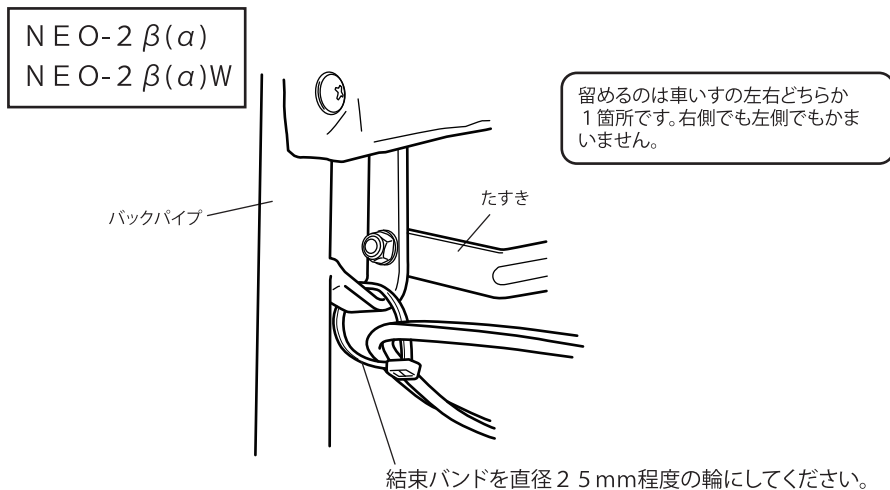
ワンストップブレーキの取付け

ワイヤーの結束【NEO-2 $\beta(\alpha)$ ／NEO-2 $\beta(\alpha)$ W】

NEO-2 $\beta(\alpha)$ ／NEO-2 $\beta(\alpha)$ Wでは、ワントップブレーキの2本のワイヤーを、クロスフレームたすき固定バーにぶらさげるように留めてください。
結束バンド(全長約300mm)を使用します。

留めるのは車いすの左右どちらか1箇所です。右側でも左側でもかまいません。

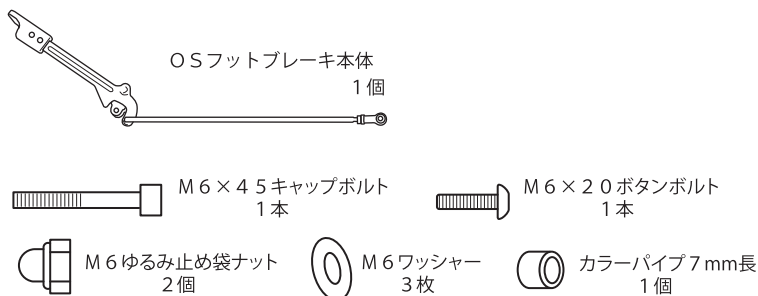
結束バンドのあまった部分をカットする場合は、切断面が鋭利にならないように処理してください。
(ケガ防止のため)



OSフットブレーキのパーツ一覧・取付け

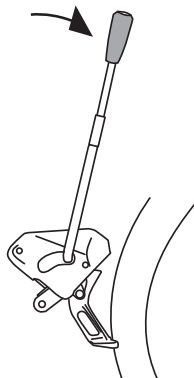
パーツ一覧

OS フットブレーキを取付け用部品として購入いただいた場合は、下記のパーツがセットになっています。



取りつけたかた

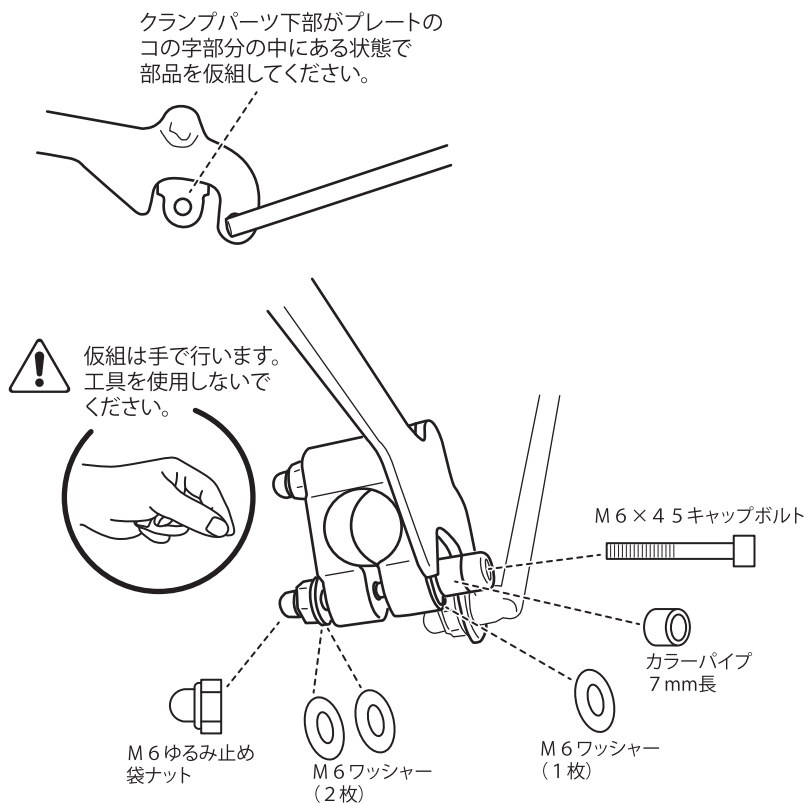
1



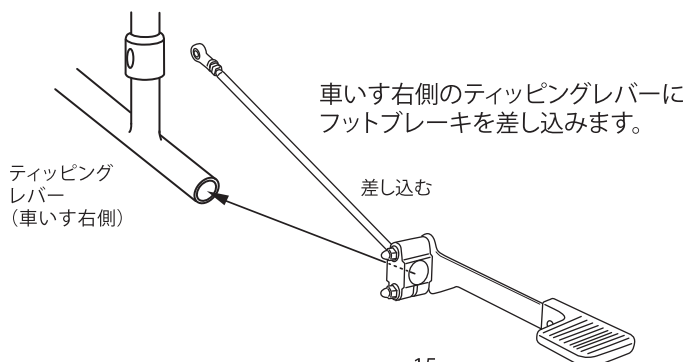
ワンストップブレーキが車いすに正しく装着されていることを確認し、ワンストップブレーキを駐車状態にします。
(ワンストップブレーキの装着・操作方法は P 2 ~ P 13 でご確認ください。)

OSフットブレーキの取付け

- 2** フットブレーキのクランプパーツの下部に、キャップボルト、カラーパイプ、ワッシャー、ゆるみ止め袋ナットを手で仮組してください。



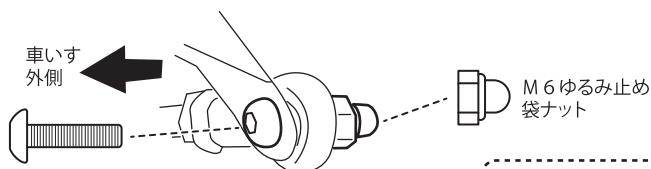
3



OSフットブレーキの取付け

4

フットブレーキ位置を前後に調整しながら
ワンストップブレーキとフットブレーキの
連結用穴の位置を合わせます。



NEO-1 β (α)W以外の機種の場合

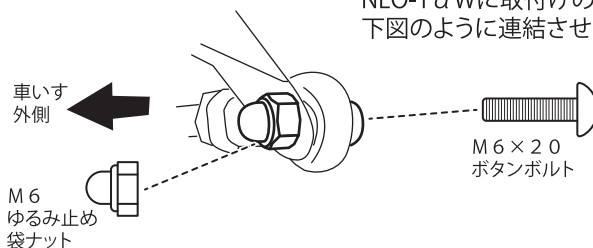
合わせた連結用穴にボタンボルトを通し、
ゆるみ止め袋ナットをしっかりと締め込んで
ワンストップブレーキとフットブレーキを
連結させます。

使用工具

10mmスパナ 1本
4mm六角レンチ 1本

NEO-1 β (α)Wに取付けの場合

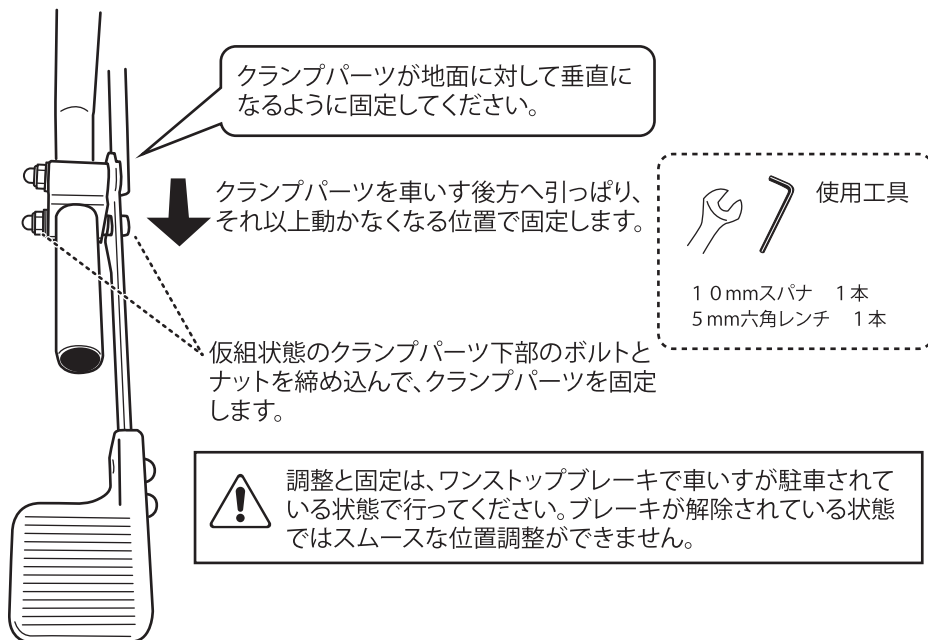
NEO-1 α Wに取付けの場合は、
下図のように連結させてください。



OSフットブレーキの取付け

5

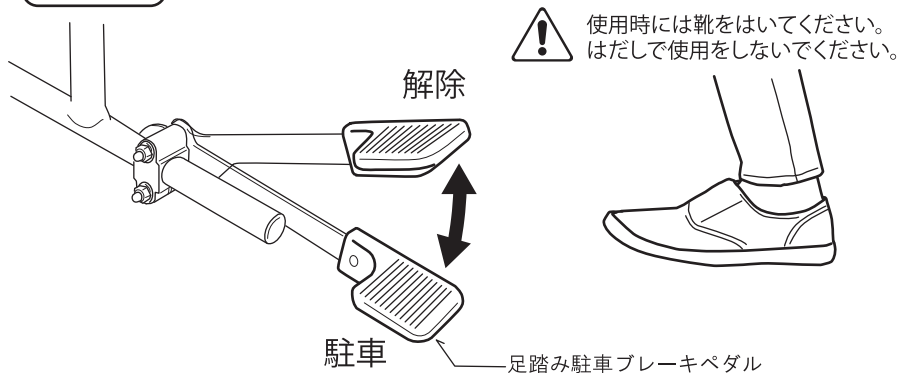
フットブレーキの位置や向きを下記のように調整し、固定します。



OSフットブレーキの動作確認と使用方法

※組みつけ後は、下記の使用方法通りに正しく動作することを確認してください。

使用方法



足踏み駐車ブレーキペダルを足で踏むことで車いす左右後輪にブレーキがかかります。
(ワンストップブレーキも連動して動作します。)

解除する場合は足踏み駐車ブレーキペダルを足で跳ね上げてください。



注意 警告

- ・しっかりブレーキをかけていても、乗降時などに横から強い力が加わると車いすは簡単に動いてしまいますので、十分注意してください。
- ・坂の途中では駐車しないでください。やむを得ず駐車する場合は2輪以上に車止めをしてください。
- ・ペダルに体重をあずけるなど、ペダルに強い力がかかる行為はしないでください。
- ・駐車ブレーキをかけた状態で車いす本体を無理に押したり引いたりしないでください。
- ・駐車ブレーキを動かす場合は、左右のワンストップブレーキの近くに操作者や他人の手指や身体がないことを確認してください。
ブレーキシューやフットブレーキとタイヤの間で身体をはさむことによるケガのおそれがあります。
- ・製品に異常がある場合は使用を中止し、販売店に部品交換や修理、調節を依頼してください。

MEMO

日進医療器株式会社

本 社	〒481-8681 愛知県北名古屋市沖村権現35番地の2 T E L <0568>21-0635(代) F A X <0568>23-2787
東京営業所	〒112-0011 東京都文京区千石2丁目 2-1 T E L <03>3943-5200(代) F A X <03>3943-5222
大阪営業所	〒533-0013 大阪府大阪市東淀川区豊里 6-16-10 T E L <06>6323-8265(代) F A X <06>6326-2554
九州営業所	〒812-0876 福岡県福岡市博多区昭南町2丁目 3-8 T E L <092>513-5036(代) F A X <092>513-5038

製品の廃棄方法

ご不用となった製品を処分される場合の廃棄方法につきましては、
お住まいの自治体のルールに従ってください。